朝鮮日報

(電話第四三〇番)

紀元二千五百六十五年
韓暦光武九年
陰暦甲辰二月廿九日

定價 一ヶ月金參拾錢 三ヶ月前金八拾錢 郵稅共
廣告 五號活字十九字詰 一行 一日以上 金拾五錢 三日以上 金拾三錢 五日以上 金拾錢 特別割引 金貳拾錢
發行兼編輯人 印刷人
京城釜山港大廳町二十七番地 發行所 朝鮮日報社

雜報

●臺灣製鹽と韓國輸入（白田嘉一郎氏の談）

近來臺灣總督府專賣の食鹽は續々朝鮮に輸入されて其勢力殆んど韓國產及び內地產を壓倒せんとす、元來臺灣製鹽を韓國に輸出する一手販賣は韓國台鹽販賣會社にして此社は東京市西野寛司、橫濱市尾崎房太郎、釜山 白田嘉一郎外三名の設立に係り昨年九月十七日總督府に保證金を納入し特許を得たるものにして釜山港外の絶影島に五千坪の倉庫を設立し本年一月を以て輸入を開始したるものなるが其第一番の輸入は本年二月上旬金泉市場に於て販賣を始めしに品質良好價格低廉なるに拘ず韓人は鹽粒の大なりと稱して之れを排斥したれど即座に臼にて搗き碎き思ふが儘に細粉と爲るべきものなるおとを知らしめたるの結果彼韓人等は喜んで之を購買するに至り次回の市場には原形の儘僅か二時間內に於て數千俵を賣盡したる程なり此好評は忽ち各地方に傳わり臺鹽市場の開くるを待ちて競ひ先入氣を博し金泉より釜山に向け續々注文し來る有樣となり爲に會社は多忙を極め既に第一回安平出發の菱通丸にて多量に輸入したり、然るに韓人の臺鹽購買期は二月より六月に至る間にて其十分七を購入するを以て更らに十六萬斤を注文したり、尙同會社が韓國全部一番として京釜鐵道を利用すべく既に其調査を遂げしに京釜鐵道沿道韓民の總數は凡三百萬人にして農商務省調査にては日本人一人一ヶ年に要する食鹽平均一斗七升なるも韓人は之を多量に用ゆるが故に假に一人二斗とすれば三百万人に對し其消費額は一百万俵即ち一億萬斤なり、而して此一億萬斤は必ず臺鹽を用ゆべきは論を俟たず如何となれば韓國內地に產する食鹽及び日本內地製の食鹽は釜山に於て一斤平均當國四拾參錢八厘の相場にあらざれば損失を招くも臺鹽は釜山に於て當國參錢四厘にし四拾錢斗り廉なるを以て到底臺鹽に對して競爭すべくもあらず全く專賣鹽の爲めに壓倒せらるゝは數の免れざる處なり斯の如く有望なる事業なるに拘らず臺灣に於ける目下の鹽田は五百二十町よりして此製鹽僅かに一億一千万斤なるを以て京釜鐵道沿道に一億萬斤を要するとせば殘額一千萬斤を以て內地に供せざるべからず然るに日本人の消費高は十一億萬斤なるを以て總督府に於ては更らに鹽田二萬千九百坪を增設して四十億萬斤を製出するの計畫なれば臺鹽の將來は獨り京釜沿道にのみならず京義鐵道より延ては臺灣專賣制度に及ぼすべきは貿易の發展に必ず爭はれざる事實なれば同會社に於ても將來の設備とし絶影島に更に五万坪の倉庫敷地を購入し目下貯藏所の用意中なり尙臺鹽の有望なるは延て京釜鐵道の營業に少からざる利益を與ふるものにして假に京釜鐵道沿道三百万人の需用に充すとする一俵の運賃平均二十錢一ヶ年二十万圓の常得意先を得るものなれば京釜鐵道の足立太郎氏の如き大に之を賛成して同會社の擴張を希望せりと云々

●昨年中の日韓貿易額

今回我が大藏省にて發表せる昨三十七年外國貿易年表によりて日韓貿易の狀態を見るに左の如き結果を示せり

▲輸出入品價格

日本より輸入	二〇、三八九、七二八圓
韓國より輸出	六、四〇〇、七七七圓

▲輸出入金銀價格

日本より輸入銀貨及銀地金	六、八六〇八圓
韓國より輸出金貨及金地金	五、四三三、五一圓
韓國より輸出銀貨及地金	二七二、八八圓

▲外國往來船舶價格

(日本より輸入)	汽船	一、六八〇、四七三圓
	帆船	一、二五九圓
(韓國より輸出)	汽船	四六五、八八六圓
	帆船	一、八一七圓

▲船舶出入

(日本へ)	汽船	一一九隻	六九、六二〇
	帆船	二隻	三三
(日本より)	汽船		一、六八〇、四七三圓
	帆船		一、二五九圓

即ち我對韓貿易は日露開戰以降對韓經營の大發展と共に非常の進捗を示し去三十六年度に比し輸出入合計に於て六百萬圓の增加を爲し六年前の三十一年に比すれば實に二倍半强の進步を示せり尙は韓國の外國貿易金額と對日本貿易額と比較するに我國の朝鮮に於ける貿易額は韓國の諸外國とに對する貿易全額の八割餘に昇り日韓貿易は非常の發展を示せり

●韓國移住に就て

日韓の關係は日に月に親厚を加へつゝありと雖も其移住民に就ては未だ吾人の滿足し得ざるものあり從來朝鮮に移住し若くはせんとするものは多くは九州、中國人にして其の又移住する處は單に其の東南端なる釜山を最とし京城、仁川、元山其他二三の開港場にとゞまり更らに進んで內地に入込むものは殆んど稀れなりしも今度の戰爭に依りて朝鮮は事實上我保護國となり內外諸政務擧げて我が監督の下に置かれた對交上の特權を實際に有効ならしめんには兼ねて經濟上の利益をも獲得せざるべからざるを以て政府は彼の北海道の移住民に對する保護と同樣韓國移住民に對しても十分の保護を與ふるとゝもに大に之れを獎勵し汽車汽船も亦た是等の移住者に對し出來得る丈けの便利を計り無賃若くは大割引をなし以て移住の獎勵に勉むるに於ては獨り帝國西部のものゝみに止まらず其の移住希望者は全般に渉り其移住地も亦た韓國の全面に擴り日本人の勢力益々發展するに至らば對韓經營は始めて遺憾なきを期し得べしと某氏は語れり

●大連營口方面渡航者乃激增

近來戰勝の跡を逐うて大連及び營口方面に確固たる目的もなく渡航するもの日に益々多きを加へために營口の如きは住むに家なきほどの多數本邦人入込み居る而かも今後對外船舶の航通とゝもに何いよ〳〵增加すべき傾向あるとその多くは一時的の利益を目的に渡航せるものなるは當局においても甚だ苦慮せるところにして固より戰後是等方面に我が商權を移植する上において今日よりこれが計劃を立つることは大ひに必要とするところなれば一定の目的を以て永遠の業を興さんとするもの及び軍隊の必要の物品を供給する商人等については政府においても充分これを保護するの方針なるがたゞこれに名を借りて目的もなき多數人の渡航するは却つてそれらの自分の失敗に終るは勿論他の成功者まで傷け延いて日本の商權擴張にも惡影響を來すの恐れなしとせず現に今日營口方面にありて着實なる目的を以て渡航したる者も住家なくして苦しみ居れる有樣なれば家屋の建築は最もその急に迫まれるを以て政府においても充分調査の結果既に家屋の新築に着手せる由

●韓國鑛山の調査

韓國主要の產物といへば先づ指を鑛物に屈せざる可らざるが從來政府及個人の其調査に着手したる事數二なるも未だ其精確なる調査を爲すに至らざりしが今回戚必要上より愈々韓國鑛山全部の踏査を爲す事となり監督省より三名地質調査局より一名本月頃韓國へ派遣せらるゝよしにて其內二名は大坂監督省より派遣せらるべし而して各鑛山中重もに金鑛に就て精密の調査を爲す筈なりといふ

●城津通信

▲居留地の模樣　露兵侵入と同時に我居留民の經營になれる家屋全体を擧げ烏有に歸せしめたれば目下移住を試みんとするものは住むに家なく非常の困難を極め居れり尤も韓人家屋は四五十戶あれど〇〇〇〇宿舍に收容せられ到底居留民の賃借を許すべからず依て當居住を圖らんとすものは先づ家屋の建築を試み而して後居住を圖らざるべからざるの始末なれば其筋に於ては成るべく將校且つ相當の資料を有するものにあらざれば當分の間無斷に居住を許さゞる由に聞く

▲露兵は何の工事を施さず　防禦工事を施したり杯の風說ありしも實地を目擊するに一も工事を施しあらざる形跡なかりき之を要するに露兵駐屯中は盛めに韓人等は約一ヶ年の間非常に困難を極めたり尙彼糧秣は一時滑潮方面より輸入したるも總へて野積となし大抵駐屯中に喰ひ盡したる殘余は其退却に際し海中に投入し或は燒棄し現に今日にても海中に投入したる幾分は港內に浮流し居るを認めたり

▲韓人の人氣　一年前と今日の韓人とは其人氣の度合は全く別人なるものゝ如し昨年は烏渡附近村落に野遊を試みるも或る部分に於ては或は惡口を噴き或は罵詈して喧嘩を吹き掛けんとする形跡ありしかど今日は更に斯かる擧動を見出さゞるのみならず日本人と見れば神や佛のごとくに信賴尊敬し總てに向て便利を與へんとするは全く我戰勝の齎らしたる效にして今日の調子を以て進まば商業上にも大ひに好都合を得て我商權の擴張せる日を期して待つべきなり

▲道路の良好　一体に道路は巾廣き方なりしが露兵は道路の改修には余程力を注ぎたると見へ近頃は坦々砥の如く車軌を並ぶるも敢へて支障を感せざるなり

征行日記　　誠齋

三月廿一日　晴　暖

午前六時三十分起床同七時三十分縱列に先つ事約三十分ましで平壤に向ふ行を共にするもの昨日の如く外に小山喇叭手を具す軍曹昨日の間道に恐縮して連れを失せず也亦狡獪なるかな

日夜燒けたる原野や峻しき峯を過ぎ零時四十分平壤兵站司令部に至り糧秣受領の手續をなせり、此時余は危く小山喇叭手を乘馬の跡に殘ちむさせりき、一昨日迄さしも舞閣の街衢今日は寂又寥、蓋し井上縱隊去り長谷川縱隊の未だ入城せざればなり暫くにして三百の軍勢木太將以下四名の將下續いて金色燦爛たる參謀の諸星は威風堂々として入城せり寂莫は破られぬ、之れを迎えむとて之れを擧げて街上堵をなせり又紅解圍の一部は滿々として軍旗を擁して入 嗚呼何等の愉快ぞ雄氣勃々胸を衝く縱列は三時着し糧秣の交附を受け同五時七星門外前日の處に合營す

行程□□日に同じ

冷々浪々錄（二）　　古山劍風

○逆境に闘ふするものは順境に於ても煩悶するの人也、吾等は可及的逆境を利用すべし、利用すべき也、更に一歩を進めて利用を利用すべき也、見よ凡ての惡德も凡ての美性も此間に釀さるゝにあらずや、吾等は逆境に依りて忍耐、勸勉等の美德を致へらるゝに勉めざるべからず

○過去は過去として說くも過去たるを免れず、過去は散じたる霧の如し、追ふべからず、捉ふべからず、未來に生きよ、未來に生きよ。

○惡とは何んぞや、善とは何んぞや、惡とは善の裏面也、道學先生に誤られたる社會は時に善惡無差別に閉口す、見る人に依りて惡も時に善也、善も時に惡たるを免れず吾人は惡を以て善とする時代の到々として眼前に來るを笑はざる能はざる也。



文苑

春雜吟　　漣會

朧夜やマントコウトの二八連　孤剛
桃花燦たり美人艶たる跳かな　哭天
獨吟の思案も出來てはるの海　子養
渡し守將うたいさむ花もぞり　孤
目に觸るゝ所は花よ吉野山　哭
春の海片手片手の磯部かな　子
朧夜や琴の音漏るゝ町はづれ　孤
千枝萬朶我を迎ふか花の仙　哭

一々會詠草

草若葉

失戀の海老茶ふみけりくさ若葉　爛紅
洗足やくさ若葉ふむうないかな　鬼門
草若葉春は濟野にのどかにて　芳哉園
村童のいくさあそびやくさ若葉　爛紅
くさ若葉青波たゞよふ廣野かな　默安
くさ若葉馬蹄に散らす沙河の邊　袖樹
鶺鴒ぶきん裡の庭やくさわかば　皐天
花よりも趣味あり野邊の草若葉　默安
長閑さやくさばも若き野の表面　爛紅

入

世にすねた居士が門邊や草若葉　芳哉園

地

岐路や淺茅が原いくさわかば　鬼門

天

駒とめて水あふ岸の草わかば　爛紅

惡十句（春季）　　黑潮

開閉の惡しき障子や花咲いて
十惡の獄門首や落つばき
惡き小庭小住居寒の眞
惡むき猿を連れた花見客
留咲きし海棠折るを惡まれけり
惡まれて風に散りぬ花の春
夕風に源太惱めたり花の步
春寒し惡き太郎を思ひこさき
つき惡き梅木茶臺の背
船頭のあまれけや花見運

講談　仇討武勇の誉（廿一回）

本社　井竹林講演　貞速記

一「偖て岩見氏作兵衛より話しもいたしたらうか奥羽兩國は御心配には及ばぬ彼等三人を尋ねるでござらう就ては之に金子が五十兩でござる主人如宗より路用の足し御自分へ遣はせといふ命でござる之れ又遠慮なく御納め下さい」重太郎は仙臺の大守と政宗のおつき情けを賜はりましてくれ〳〵も禮を述べて烏羽屋へ立歸る此の時に上野之介政景の家へ左京大夫輝宗が來たつて次の間より重太郎の容子を見て大ひに感じたといふことは後に重太郎が大阪へ入城した時に分つたさうでございます其翌日は太平もろともに烏羽屋を出立に及んで金兵衛も途中まで見送りましたが際限のないこと二人づれで城下を放れまして稍半道ばかり來たる所「待て」と兩人が ○「岩見先生手前どもは政景の家來でございます少々お控へを願ひたい」重「何か御用か」○「エー主人政景の實弟が出家致して相成り策念と申して山本村の東源寺といふ寺の住職になつて居られます策念は植木を好みまして珍木珍草を多く植込んでございます今ばん一夜は策念方に岩見先生を御案内申上よとの書面で誂りいでましてございます御供をいたしませう」重「御親切の段千萬忝けない然し其の儀は重太郎御辭退申し上げます御戾りの上御主人へよろしく」○「しかし手前どもは是非御案内申せと主人よりの申しつけ此の儘立せ出しては主人へ對して手前どもが申しわけがございません是非何うか御同道を」たわきから若松屋太平が 太「先生折角の思し召二人の御家來衆が御迷惑なさるから東源寺へお出なすつたら何うでございませう」重「然らば邪魔いたさう」二人のものが先へ立つて五六町くると是よりは東源寺まで十一町さいふ棒杭が建てあります「此の道を何うか眞直にお出なさるやうに手前どもは一足お先へ參りませう」とかけて行く二人が寺へいつたかと思ふ時分に太平は門前へ參りますと手つてきらびやかなる袈裟衣を着して出たるは政景の弟策念でございませうか年令彼是三十四兩眼の冷い色黒る僧 策「珍客宜ふおそ御出下された手前は上野之介政景の實弟策念と申すもの兄より挨拶かございまして一夜是非當寺へ御一泊下されるやうに」重「御兄上に一と通りならず厚情を蒙むりまして岩見重太郎と申すもの當今ばんは意外の御厄介御辭退は却つて失禮よろしきやうに願ひます」と云ふ間に山海の珍味野菜といひたいが四季のものでの料理に酒之といふ御馳走もございませんがと策念無暗に盃をさし出す御膳の前では何となく氣もそゞろ〳〵といたすまい一杯あちらへ御案内申すでござらうコレ奥の二階を 〇「ハッ」と答へて小坊主が夫へ盃器を持運び重太郎が案内にしたがひ參ると通が奥の二階でございます重太郎が酒をすごして十分に酩酊してよふもせい〳〵すん策でございます思はく重太郎「風景が尤ともよろしい城下を眺めて心得て眠ります」策「夫では早く御床を」策「珍客如何で御酒が十分なら御床を述へませうか」重「誠とに千萬忝けなふござります實は最前より御酒は御免を蒙むりまする」策「まづごゆるりと」と挨拶をして策念は往つてしまう枕につくと酒のきげんで二人が高いびきに寢てまいりました大分御酩酊の御容子故床をのべ盃を取り片づけて床を述へいましたアンと妙ナ香ひがしてパチ〳〵といふ妙ナ音がする勇士はくつわの音に目をさますとやら重太郎が兩眼をひらくとボーッと下から煙りが上つてくるハテナと思ふ中にピシ〳〵と火が燃上つて來た 重「太平起ろ出火じや」あやまちじや太平起上つて見るとモー夫へ下から火を吹上げて居りました

朝鮮日報

雜報

●北韓方面の敵情

情報に依れば北韓一帶の露兵は全く其跡を收め今や豆滿江以南には一兵なしといふあり是れ敵が奉天附近の大會戰に敗りて大敗北の結果鏡城に守備せる各部隊を撤し滿洲に集中せるに外ならず尙ほ豆滿江には在來敵が往復の用に供したる軍橋ありしが退却の際悉く破壞して去りたりといふ

●獨逸新聞紙の日本外債評

獨逸のローカル、アンツァイゲル新聞は外債に關する長文の社說において左の論評をなせり

日本人は啻に滿洲の戰場においてのみならず今回歐米における財政上の措置においても亦卓越なる戰略あることを示せり日本が第一回露國外國公債を募りし其際英國人の之に應募するを見て多數の獨逸人は其勇氣に驚きたるも英人は今や形勢の變化を以て日本に對して最大の信用を與へ各方面より援助を生ずるに至れり獨逸銀行界の大部分も亦今回の日本公債引受けに參加せんことを試み日本は之が協力を容れんとせず然るに獨逸金融界はブリテン（英國人の一名）およびアンキー（米國人の一名）の下風に立つの名譽を辭退するを選び遂に獨逸側の請求は謝絕せられたり

日本政府は獨逸が右の如く其市場を同國公債の爲め開放せんとするの意あるに乘じ之を三國協商の間に協議を施し以て其募債をして刻下の狀勢に對しては有利なる條件を維持せしむるにおいて成功せり今や歐米先進の各國が外國資本の助力を得るの途は杜絕せんとしつゝある時なるに

●平和と償金（外人の億ふ日本の要求額）

巴里二月二十二日發紐育アメリカン着電に曰く露國平和をなさんとする說は當地官憲の不思議とするところなり最近該日露兩國の平和黨が相和を主張しつゝありしは人の知る所なるが然も平和條件なるものゝ明白に發表さるゝに至ては人些か驚駭の氣味あり平和に就いての難問は償金問題ならん日本は兎もし三億五千万弗の償金を要求するよし此額は大なりと雖も當地に於ける日本の友人の言ふところに依れば日本政府は露國に再擧を與へしめざる爲め勿論日本は露國を排斥せんと欲するものならず斯の如き平和條件は絕對に排斥するものなるべく日本の平和を來るべき數年に非ず然らば

間に亘りて保持す可き條件は又絕對的必要なりといふと更に華盛頓發電では大統領及び國務卿は日本が直接露國に向ひ平和の申込を爲したるを聞知せるにあらずして日本は必然平和の提供を爲したるに非ずして平和談判の根抵となるべき條件を示せり其重なるものは露國をして全然滿洲より撤退せしめ滿洲を淸國に還附するにあるよしなれど何れの筋より出でたるものにや一時各種の流說の行れたるを想見す可し

●新參政の辭表

新參政閔泳煥氏は其就任を固辭して辭表を捧げしも聞屆けられざりしにより昨日更らに第二の辭表を捧げたり氏が何故にかく辭意切なるかに就き一說には目下時局多難にして到底此間に處し參政の任務を盡すは困難なるより辭意を決したるなりといひ又一說には氏の參政に就任するは物議を招き他の反對を受くる恐あり故に今は出づるの機會にあらざるを以てならんといへり何れにしても氏の辭意固きは事實にして氏は昨今の時局に對し大に悲觀的態度を取りつゝありといふ

●視察員の結定

日本に派遣すべき視察員は其人選困難なるため今尙は出發に至らざるが其の內已に決定し居れる面々は

表勳院總裁　閔丙奭
通信院總裁　閔商鎬
前內部大臣　李容泰
陸軍參領　吉永洙

の四氏にして度支部よりは視察員一人に對し旅費として各一千元宛を支出するあどに內決し居れりといふ

●遂安金鑛の特許

日、英、米三國人の合資組合に其採掘特許權を得んとて兼て我公使より韓廷に要求中なりし遂安金鑛特許の件は其後外部大臣と我公使との間に於ける交涉首尾よく纏まり外部大臣李夏榮氏はいよ〳〵去る二十七日附にて日英米の三公使に對し遂安金礦採掘を特許すべき旨通知し來れるを以て近々之れに關する合同契約を協定する筈なりといふ

●度量衡制度の發布　韓國政府は昨日の官報を以て度量衡に關する制度を發布したるが右は來る十一月一日より實施の筈なりといふ

●韓國警察官のストライキ（滑稽）　韓國の我警部配置に對し韓國側の各署長は大不平にて一同決議の上ストライキを決行することに決し北署長李鳳勝の如きは眞先に辭表を提出し一同決議の如く欠勤せしも熟ら〳〵考へて見れば斯くては直に頤の干上る次第なるを以て我れも〳〵と裏切を始め初めのストライキも僅に一日丈けにてお流れになり滑稽にも二日目からは何れの署長も常の如く出務し初めたりと又一說には右の歸任者は或は目下辭表聽置中なる警務使申泰休に非ずやとの噂あり

［illegible］戰爭の［illegible］各種の方面に打擊を與へたるは言ふまでもなき所なるが就中影響の大なりしは海運業なるべし否らずして我が忠勇なる將士の力に依り制海權を掌握し得るが爲め其打擊を減却したりと雖ども今日本郵船に就て聞くに平時との比較は實に左の如き結果を示せり

三十六年四月より同年九月迄の成蹟

航海回數	一千四十三回
航海里數	百五十八萬六千七百六十七海里
航海船數	七十七艘廿四万二千百六十二噸
小蒸汽船	三十七艘千八十四噸餘
運賃　荷物	六百八十三万六千六百八十三円
船客	百七十九万二千七百二十九円餘
利益金	二百五十八萬九千四百八十円余

三十七年四月より同年九月迄の成蹟

航海回數	五百三十八回
海航里數	六十一万四千二百二十五海里
航海船舶	七十艘十三万六千二百五十六噸
小蒸汽船	三十八艘千九十六噸
運賃　荷物	三百四十萬八千八百五十五圓余
船客	四十三万九千五十七圓余
利益金	百四十三萬八百四圓余

右の如くにして其運賃に於ては四百七十八萬二千四百八十五圓余の減額にして平時の半ばに過ぎず又利益金に於ても實に百十万八千六百九十一圓余の減少を示せり

●韓國の鑛山事務

從來韓國政府に聘用せられ居たる鑛山技師佛人ギレヒー氏等四人は今度解雇せらるゝことゝなりしが同國政府にては鑛業法規の調査立案其他鑛業に關する諸般の事項を調査せしむる爲め本邦より鑛山技師鑛務官等兩三人を聘用せんとするの議あり目下雙方の當局者間に於て交涉中なるが農商務省地質調査所長理學博士巨智部忠承氏或は其聘に應ずることゝなるやも知れずといふ

●營口行船舶の注意　淸國營口は豫て報せし如く夫の遼河流域全く解氷き船舶の出入差支なきに至りたるを以て其筋よりては入港船舶に對し萬國信號通信所を設け信號旗により信號通信を爲し其便宜を與へつゝあることなるが今後報によれば信號通信所は普通船舶に對しては北鑛端を指定せず又危險豫報若くは特に緊要なる事項の外は信號通信を受付けざる趣にて頃日其筋より各船舶に對し右の注意を與へたりとなり

●群山たより

拜啓追々暖く相成り候雁等は北へ〳〵と去るに連れ同胞の移住者は南より東より日々群をなして押寄せ來り候先頃入港の薩州丸にて渡來せる四十余名の內旅館に投宿せし者は僅に三四名に過ぎずして他は何れも知己を賴りて居留地外の田舍地方に入込めりといへば定めて健全なる移住者なるべく誠に賴もしき次第に候一昨日も多摩川丸にて七十余名の個別來り候あの大部分は赤毛布簑菅笠を携帶せる百姓諸子に候由來當地へは濡手粟主義の山師連は入込まず多くは着實なる移住者にして今は當地も健全なる小殖民地を形成いたし候又昨年來本邦より櫻桃林檎等の苗木を取寄せ居留地附近の山に［illegible］或は各自の興味ある［illegible］ては大規模の［illegible］事業を見るべきかと存じ［illegible］愉快に耐へざる候敬具

●朝鮮行の綿布

伊勢近江地方で製造して居る朝鮮行綿布は二通りあつて一は釜山行他は元山、仁川、鎭南浦、平壤等へ輸出する綿布である先づ釜山行のものは幅一尺一寸、丈け五丈六尺目四百五十匁價格一圓三十錢の白木綿であれを造るには鐘紡とか合同紡績等の一等糸綛十六手緯十四手を使つて居る又釜山行に納戶織色と稱して幅九寸五分丈け五丈六尺量目四百匁付價格一圓五十錢の綿布もあるが原料糸は經緯共十六番手で鐘紡、合同等の一等糸と尾勢地方紡績の二等糸とを交せ合して使つて居るのである、元山、仁川、鎭南浦、平壤等へ輸出する重なる木綿は釜山行の品とは遙かに品質の粗惡なもので經緯共尾勢地方の二等糸を使つて居る幅及び丈け等は釜山行と同樣尺一物である、卽ち品質粗末なだけで目方三百六七十匁付價格一圓內外である、ドウも同じ朝鮮でもあの地方に輸出する木綿は品質上等で價格の高いものは一向賣口が乏しいのである、であるが併し何物に限らず始めの間は品質良好價格高直の品は一時賣口が鈍いのであるけれども次第〳〵に需用者の智識も進步して來て直段が高くて良品は利益だといふ感念が起つて來るやうになるに相違ないから當業者は機先を制して良品の商標を擴張するあどに注意し假令ひ今日はその賣行不況なるも熱心撓ゆまず良好品を供給し需用者にその眞價を知得せしむるやうに勉勵しなくてはならないのである（某氏の談）

●城津移住者の增加　城津地方平靜に歸し我領事分館も愈々開館せらるゝことゝなり貿易狀態も舊に復せんとするに至りしのみならず近時北韓方面の活動につれて城津地方も頗る活氣を呈したるを以て城津への移住者は日々增加しつゝありといふ

●釜山鎭基地賣下　外部は今回人民の請願を容れ釜山鎭に於ける基地を一萬元にて賣下げたり

●遼河入港許可　遼河口の流氷全く融解して最早危險なきに至りしを以て昨日より諸船舶の入港することを許可されたり目下遼河口に船泊中の汽船は都合三十餘隻なりといふ

●政友會の滿韓調査　政友會本部にては既に輸出獎勵調查會を設て一般の輸出獎勵に關する事項を調査し當局者をして之れが實行方法を講ぜしめ居れるが戰後滿韓地方に於ける貿易並びに商工業の擴張は今後の急務に屬するを以て同代議士中には滿韓事業調查會を設け一面同地方に出張する同志と協同して研究調査すべし

●具藻の採取事業　朝鮮沿岸に於ける具藻採取事業を以て起れる具藻採取會社あり又之れと對抗すべく［illegible］たるが今回當港南部町の有力實業家數名發起の上當港附近の具藻採取に從事すべしと

●穀物荷造の改良問題　從來の叺斗入は其の不便は勿論の事其の荷造品に於て俵裝の破損するより往々該荷主の損害を受くることあり之れを以て四斗入に改むるにおいては右の損害を豫防するに於て當港の有力なる實業家等は何れも右の改良問題を絕叫しつゝあり既に大坂商業會議所に於ては右に關し臨時會を開き右改良に決議し猶ほ委員に於て俵裝の體裁を調査し決定の上は常港にも通牒し同意を求むるよしなれば近き將來に於て右決議さるゝあどとなるべしといへり

●本年度入學兒童數　本年度當公立小學校へ入學すべき學令兒童にて當居留民役所へ屆出でをなしたるは二百六名なりと

●伊藤朋瑞の揮毫會　數日前より監督二際常氏と來釜されし京城地方へ招待さるべき妙覺寺にて本日より明日迄二日間揮毫會を開く由にて一般人民の從覽を許すと

●青年團本俱樂部設立　日々朝鮮の有望なるを聞き渡航するもの頗る多きあとなるが中には無資本にて渡來するも飲食に困難するものもあるは甚だ氣毒の次第なればとて當港西町渡邊啓一氏青年有志を糾合し一は俱樂部を設立して右の如き難澁渡韓者の利便を謀り一は他日朝鮮に於ける經濟に靑年實業家の一致を計らんなりといふ俱樂部事務所は目下西町の適當なる家屋を借受くる事に奔走中の由

●高木氏の模範田　當港南町高木氏は當附近に模範田を設けんと昨年以來奔走中なりしが今回二十町步の良田を買收し韓人を使役して耕拓に從事しつゝあり氏の說によれば小宮萬次郞氏と同說にして荒蕪地を開拓するの費用あらば良田を買收して耕拓するに如かずと

●亞米利加瓦の現況　一般其の効力と價値に就ては皆目なるも具眼者は早く右の瓦に着目し既に當港商品陳列館附屬の家屋の屋根及び當港小學校の假校舍にも右の瓦を使用となり附屬家屋の方は亞米利加瓦の使用方成功したるも小學校の方は板張をせざる爲め全然失敗したり而して右瓦は近時に至りて一般着目するの模樣なりと云ふ

●大分縣懇親會　全縣出身者は明三日神武天皇祭を期して第一回懇親會を待合亭に開くべしと

●耕樂園の計畫　今回佐須土原に耕樂園なるものを設け種々の草花樹木を植付け洽ねく需要の供給を計らん由なるが未だ開園計劃は淺きあど需要多きにはあらざるも渡韓者益々多數となり一般家屋の增設を來たす時は其の需要も多くならんとて園主は尤も

●五木氏の來釜　中央新聞記者五木［illegible］氏は一昨日來釜大池旅館へ投宿せり

●扶桑通信　島城生　四月一日

▲在留邦人の引揚　當地は一名を金鳥山と稱し若木金泉兩驛の中間にあり韓人戶數四五十戶に過ぎざるも金鳥山隧道工事の爲め多數の邦人入り込み二月末の現在戶數六十九に及び人口三百六十內男三百女六十にて一時は可也繁昌を呈せしも昨日に至り該工事全く竣工したる爲め昨今は龍山釜山等へ向け續々引揚げつゝあるの現狀なれば結局百人內外に減じしばらくは火の消へたる心地あるべし

▲金鳥山隧道　同隧道は延長十七チャインに及び昨年十一月三日を以て起工數百人の工夫を督し專ら工事を急ぎたる爲め其間何等の故障を生せず去日全く竣成去る廿六日午後の列車より無事開通を見たり

▲尙州郡の農事經營　金泉より一里なる尙州郡には邦人松村時次氏の農業經營あり田地二ヶ處にて約五百町步を買收し農夫三十名計りを移住せしむる計畫なるやにて現時馬場伴藏小原昇次郞の二氏代理して事に當れりと云ふ

▲金泉市の狀況　當地を距る三里の處に有名なる金泉市場あり大邱市を除きては稀に見るの大市也目下邦人百五十八斗り在留專ら商業に從事しつゝあり前途有望なり又た開寧郡邑は當地より三里の北方にあり郡守趙□容氏任任せりと

▲若木の砂金鑛　若木驛附近二三丁の處において砂金の產地あり昨年八九月頃韓人間にて採取に着手したる由なるが其成績は詳ならず

▲守備隊と駐在所　當地には憲兵分駐所あり濱村軍曹主任として去る廿四日來任又た鐵道守備隊としては後備廿四聯隊の一部駐屯し此地釜山領事館より商民保護として巡査一名派遣しあり

▲停車場と驛長　當金鳥山驛は可也の構造にて驛長椎谷慶太郞氏本年一月着任氏は久しく仁川驛に在勤し斯道には熟練の聞へあり一般の氣受け至て宜しき模樣也

▲商況　當地は元來韓人戶數四五十戶の一小部落にして別に商賈上の要樞と云ふにあらず但有名なる金泉市場を近く扣へたる爲め之と關聯して多少の取引あり韓錢は目下十七割二三分位にて重に金泉の相場を標準とせり

▲旅館　名ばかりの旅館なれど伊藤館大露館富士館は先づ其可なるものあり

朝鮮日報

雜報

●長壽の法

長壽を望まぬ者は無いが、然らずれば長命を得られるかに至つては一問題である、倫敦發行のグランド、マガヂンは八十歳を越ねたる諸名家に就いて親しく實驗談を聞いたとある、長命諸家の語る所は左の通りだ、

◎ギアソール卿　卿は英國貴族院議員の最年長者即ち數月にして滿九十五歳の高齢に達する人なるが其長壽を以て絶對的禁煙と飮食の節制及び戶外運動の三點に歸せりと肉類は總て其種類を選ばずして食し酒類は適度に調量を用ひ盛んに戶外運動を試み一日九時間乃至十時間の睡眠をなすと云ふ

◎チルソン伯　英國貴族院議員にして今年滿八十二歳に達せり幼時は頗る病身なりしも今日の如く非常に健康なるに至りしは全く適度の睡眠と十分の運動と人生を樂觀せると飮食を節するとに在るのとなせり

◎サー、ハッギンス　本年八十一歳英國翰林院長なるが其高齢を以て食物を節し肉食するあと少く珈琲を飮用し、酒類を用ふること稀なる等となせ　氏は未だ曾て喫煙せることなく一日九時間睡眠し牛乳及び米を用ふること頗る多し

◎サー、ウエリヤム　愛蘭參事たるあと既に五十年に及べる人本年九十三歳の高齢なり各種の肉類を思ふ儘に飽食し一日四回食事し其食には少量の赤葡萄酒を用ひ稀々のものを食するも喫煙せず戶外運動を盛んに試み一日少くも八時間睡眠す

◎メーヨル教授　既に三十年間ケムブリッヂ大學拉典語教授を勤むる人なるが本年八十一歳にして純然たる菜食家にして千八百八十四年以降菜食協議長の任に在り既に二十五年間一切の肉類を食せざるのみか茶珈琲其他の含滋飮料及び一切の酒精飮料藥味を用ひず又醫藥を服せず野菜、果物、穀類のみを食せり教授の説に斯る食物を用ふれば運動を盛んにする必要なしと云へり

春雨もふがあり

ナニ骨相ですか、イヤなかなかおれも面白いですな、一寸初めて人に逢つた時なども、ア此人はあんな骨相を持て居るが智識及び道德上に於ける性質はどうで、社會に立つてはどんな事をしさうな人だといふ事だ、少なく共眞に近い樣にあたるです△ナニ不思議ですと、どうして不思議でも何でもない全くの事實で今日では此の學問も大に發達して來たのです併しろんな問題上一般をお話しませう、一つためして御覧なさい△先づ頭の髮ですな、あの頭の髮が骨相學上大切な意味を持つて居るもので、軟い髮は温和親實な氣質を示しちぢれ毛は剛い性質の內に蓄積して居る氣質のあるを示し、ある程ちぢれて居ずして波を打つ樣になつて居る毛は我儘やきかぬ性を表はすものです△夫れから額ですな、おれが又骨相を見るにはなかなか隅に置けぬとあろで、廣い額は智慧のない徵ではないにしてもけつして圖抜けるやうな大才の表示ではないです、低い額は思想の乏しいのを示すのですが、たまたま理解力の優れて居ることを表はすとがある、節柳のある額は美的觀念に乏しい事を示、皺のある額は不正な意想を表はします、大なる思想は額を縮めず反て之を擴くするもので、縱に皺のある額は意思の乏しい徵してす無暗に廣い額は世人の思つて居るのと違つて平凡な才を表はし、小さな額も智識の缺乏を示し且つ情慾の盛な事を示し額に長い凹みのあるのは沈鬱と憂苦の徵候です（まだある）

社告

本社電話架設中に有之候處昨日より開通致(四百參拾番)し候間此段廣告仕り候也

四月二日　朝鮮日報社

●露人の見世物

倫敦にて見世物になり居る露西亞人トイノー（三十）と云ふは身の丈九尺二寸五分体量四十二貫四百四十匁其着てゐるフロックコートの羅紗は普通の人の五人分を要し靴一足は八十圓にて靴下三足を解きて風呂敷を作る時は牛一疋を包み得べく食指にはめある金の指環は重量六十匁よて犬の首環に代ふるを得べしと而して食料は朝飯に茶と牛乳を一升內外、鷄卵十六パンは六斤乃至七斤にして晝飯は牛肉二三斤、芋五斤、ビール六合又夕飯にはソップの外獸鳥魚肉野菜芋等三斤乃至五斤パン三斤、ビール一升內外を食ひ更に夜の九時頃には雞卵十五個より二十個位を貪し其上パン五斤、茶六合をペロつく由道んなのが捕虜で來たら嘸米の値が騰るだらうとは云老人の話

●漁夫網を流す

岡山縣和氣郡日生村磯本林久吉は□午前四時頃機張沖に出漁中流網百二十三反（代價二百三十圓）を風波の爲

……にあるべし

●雨落つ

一昨夜の降雨は甚しきものにて其の爲め、夜一時頃警港北濱稅關長官舍下に三間余の崖崩壞したる爲め一時通行杜絶したる左樣なりしが當署よりは織田部長巡査一名を從へ出張されたるが人畜等の死傷はなかりし

○……內地の不景氣なるより退わしも郵田も食へ込む事出來難く當地の景氣を當てにおんで入り込む猶連の續々として雨後の筍の樣だが之もそんなものだらう鳥取縣は堀井サタは（三十六）旭樓より政助と改め島生れ木村カメ（二三）は一助と名乗りて第一樓より大門よりた樣とつてへ今晩は

讀者



▲居留民は民費負擔の義務あると共に其の權利は如何なる程度まで有するか（渡新民）▲王糸に有頂然となつて居る人がソンジョリ處らに居る（岡燒生）▲昨年度の居留地收支豫算表貴紙に掲載を乞ふ全体居留地のとも時局の發展と共に一般人民の豫算權を明晰ならしむるは刻下の急務と存候（仲張半義）▲釜山青年と不品行たのやれ不活潑だのと攻擊する人があるがそれは一二の青年に過ぎないので、それを以て釜山青年全体に及ぼすごときは御遠慮かと存ます青年がそんな不品行ならば僕の處へ御出でなさい答辯して上げますから（精鋭生）▲某町にて水雷艇は八噸より十一二噸位いだと口角泡を飛ばして論じて居つた日鏡先生があつたがチト目を見開いては如何です（皆國民）▲韓國に於ける警察制度の改革は着手せられつつ居留地の警察にも少革新の必要はなきや余は……頃の渡航者なるが誠に驚き入つたる役人を見た普通人民に對し應接するに最下等の言語を以てするなど、けチト野郎（注告生）▲向樋若も物好、人ですね某々樓沈沒者引揚げに運動するなどは我輩も沈沒した時は同君に依頼しようかな（未定沈沒者）▲當山には大分浮浪者が多い、だから僕が資本いらずの金儲けの秘術を傳授しよう夫れは彼の龍頭山へ人の來るのを見計らつて縊死を企てるのだ、そうすれば乾度其の人が扶けるに違いない其時種々なる口實を設けて泣きつくのだ、そうすれば其の人も傍觀するに忍びず多少の金を惠んで助けるに違いない（のら大將）

釜山商況

米穀　依然出廻り薄にて隨て賣出しもあらざれど當用品には差支へなく先以て地相場に變狀なし今並昨今の相場は藤上等品十三圓二十錢並米十三圓改良玄米十圓五十錢六十錢より十圓下等九圓八十錢位に保合居れり

大豆　氣配は相變らず強きを出廻り荷少な……五錢より……へ居れり

食鹽　事實は本日より實施せらるゝ次第なるを以て價格に多少の變動を生ずならんと一体に强氣なり就中臺灣鹽は近來大に輸入の需用を增し輸入增加の傾向あり相場は九圓（二萬斤）內外なり

燃料　新炭共別に變狀なし石炭は大体に於て相場騰せしも地相場は別に變りなし

石油　倍々氣配强しや何ほ多少の下落は免れざるべき商情なり

紡績絲織物　紡績絲は相變らず好況なるも綿織物は稍り變りの時季に迫りたる爲め凡て不況なり

韓錢　在為替にて供給不充分なる爲め必要上自然育まざるを得ざる場合なるを以て近來は強氣配にて騰貴進の氣配なり

社告

秋葉辨三　赤澤擧三

本月分新聞代廣告料集金の爲め右之者巡回致す候間御躊躇なく御拂渡被下度候也

三月廿九日　朝鮮日報社

天氣豫報

北又は東乃風曇　但少雨

日本郵船會社 瀛船釜山出帆廣告

長崎門司神戸行 日東丸 四月四日

仁川鎭南浦行 トンクス號 四月□日

馬關神戸大坂行 チハヨー號 四月八日

荷客取扱所 同 大池回漕店

大阪商船會社 汽船釜山出帆廣告

仁川鎭南浦行 天照丸 四月二日 二月廿八日

義州丸 四月六日 二月廿二日

仁川鎭南浦行 大禮丸 四月九日 二月廿六日

漢城丸 四月四日 二月卅日

門司行 フイード号 四月五日 二月卅一日

日新号 四月三日 二月廿九日 但門司釜山間隔日往復航海

下關神戸大坂行 第五肱川丸 四月三日 二月廿九日

大山丸 四月四日 二月三十日

大禮丸 四月二日 二月廿八日

バイキング 四月七日 二月廿三日

宮嶋丸 四月七日 二月廿三日

安東丸 四月八日 二月廿四日

天照丸 四月十二日 三月十八日

馬山木浦群山行 浦丸 四月七日 三月三日

嚴原下關神戸大坂行 木浦丸 四月十五日 三月十一日

嚴原長崎博多下關神戸大阪行 手取川丸 四月七日 午後十時出帆

元山行 蒼龍號 四月五日 二月卅一日

沿岸線 瑞鷹丸 仁川群山間毎週三回往復

大阪商船株式會社

大阪商船株式會社 深川瀛船 釜山出帆廣告

定期連絡汽船 金州丸（若律） 四月二日 午後六時 代船 鐵道ニ連絡ス 上同酒店方

荷客取扱店 國中商店 電話二四〇番

八頭司瀛船 釜山出帆廣告

萬歳丸 四月五日 木浦仁川行

山陽丸 四月四日 馬山浦行

馬山浦丸 二月 日 荷物ハ切午前九時迄ニ午後二時出帆

八頭司瀛船部

商會 瀛船釜山出帆廣告

京畿丸 四月二日 木浦仁川鎭南浦行 二月廿八日

慶尚號 四月五日 二月三十日 元山直行

慶寶丸 仁川鎭南浦行 航海中

泰盛号 陰 陽 月 日

元山 正成丸 仁川群山間航海中

堀商會瀛船 釜山代理店 本町海岸 郵便局前 山川回漕店

池田汽船 松前丸 四月五日 三十日 仁川直行

幸光丸 月 日

寧静丸 仁川芝罘航海中

貫効丸 同

釜山港 本町 遞海岸 郵便局前 荷客元扱 山川回漕店 電話一七八番

大阪尼崎 瀛船釜山出帆廣告

太湖丸 四月二日 馬關大坂行

神代丸 四月二日 仁川鎭南浦行

第二崇敬丸 四月四日 仁川直行

大有丸 四月六日 馬關神戸大坂行

大坂瀛船出帆廣告 錦龍丸 三□ 行 大池回漕店

瀛船釜山出帆廣告

第八永田丸 世昌洋行瀛船 門司神戸大阪行 三月 日

ダクマル號 二月 日

スルベルグ號 月 日

釜山運輸組瀛船 第四共同丸 沖永回漕店（電話貳百貳拾七番）

第四共同丸 第五永田丸 釜山運輸組（電話百二十七番）

世昌洋行汽船出帆廣告

門司神戸大坂行 ダクマル 三月 日 午後五時出帆

仁川鎭南浦 スルヘルク 月 日 午後五時出帆

世昌洋行汽船 元船客扱店 齋藤回漕部

瀛船釜山出帆廣告

防長丸 四月二日 下關神戸大坂行

爲朝丸 四月三日 元山行

浦□丸 四月四日 元山行

三木回漕店 電話八□番

廣告

寫眞撮影 釜山辨天町 平井寫眞館（電話二八番）

唐津石炭 辨天町 國安商店 電話一七一

板材木廉價販賣 其他石灰竹瓦 島末商店

獸醫 富平町拾七番地 中尾祐作

磨擦米廉價販賣 富平町 岡本商店（電話三拾一番）

東京そば 東庵

材木建具廉價販賣 富平町 平松商店

丁寧親切 南濱町六番地 柳井旅館

青物乾物砂糖麥粉 西町一丁目 遠藤商店 電話架設中

活版印刷 朝鮮諺文活字あり 迅速 廉價 鮮明 釜山西町一丁目郵便局裏 立志社

清酒櫻正宗 酒櫻魂 西町三丁目 上西酒店（電話 番）

勉强御下宿 南濱一丁目十八番地海岸通 伊豫屋

精白米廉價販賣 石炭米共 南濱町海岸通四ツ角 西原商店

滋養牛肉ソップ 陸海軍御用釜山罐詰所共製品 南濱二丁目二十八番 海岸通 （代貳錢） 平田秀吉

純良牛乳 配達迅速便利 富平町二十四番地 稻尾牛乳店

歐米時計各種 電氣メッキ 金銀赤銅ニツケル 修繕 附屬品 年度保險付 幸町一丁目 園田時計店（電話二一〇番）

株式會社 第一銀行支店（電話二番）

資本金 壹千万圓

積立金 日七十万圓

明治六年設立

本店 東京

支店 出張所

京城 仁川 木浦 鎭南浦 ……

諸預リ金爲替貸金其他銀行一般ノ業務多少ニ不拘御便利御取扱可申候

東京御料理 あそびところ 釜山海岸通り（電話二四□）

おしろい化粧水 花札かるた類 新形鐵入袋物 香水香油類 其他小間物雜貨一切 釜山西町三丁目 諸品問屋 明治屋

蜂印葡萄酒 血を増し肉を肥し胃を健にする 強壯的飲料は本品に如くものなし 韓國一手輸入元 釜山幸町一丁目 齊藤支店（電話番號一四四）

新古ふたみ表襖縁商 並製造賣買 西町三丁目 丹原商店

巻煙草 刻煙草 宇治銘茶 各種石鹸 齒磨類 麻裏草履 石卸小賣共大勉强 南濱小倉庵前 宇田商店

萬小間物類 並ニ石鹸足袋 下駄糸化粧品類 右ノ品小賣共致候安價販賣 深中通り 藤井商店

諸新聞大賣捌

大坂毎日新聞 一ケ月四十八錢

萬朝報 一ケ月一円

電報新聞 一ケ月五十錢

朝日新聞 一ケ月三十八錢

右新聞ハ迅速配達仕候 尚ホ大阪毎日ハ郵便日々早着仕候也 幸町一丁目二拾三番地 山口新聞舗

調劑所 處方調劑ノ依賴ニ應ス 釜山本町 弓削靈藥館（電話三一五番）

專賣局指定煙草輸入元 きりん印刻煙草韓國發賣元

歐米雜貨 巻煙草類 各種刻莨 景品付 キリン莨 大賣出 釜山幸町 齊藤支店 電話一四四

官烟（口付 両切）一切 民製巻烟草各種 並ニ宇治銘茶 卸小賣大勉强 便利仕入所 煙草問屋 内山商店（電話二五六）

株式會社 第五十八銀行 釜山支店（電話五十八番）

爲替取組先

東京 大阪 京都 橫濱 名古屋 伏木 敦賀 富山 氷見 尾ノ道 兵庫 神戸 姬路 細川 宇和島 柳井 岩國 庭瀬 福岡 下ノ關 廣島 倉敷 門司 萩 伊萬里 長崎 博多 唐津 京城 阿知須 防府 仁川 小郡 ……

一般銀行業務は精々御便利取扱申可

順口伴房貳萬人 日本大坂收容所

數萬坪の屋根ラバロイド葺



新建築好材料 萬代不朽 ルーフイング 名題ラバロイド

東京一手販賣元 東京日本橋區五郎兵衛町 穴原商會

朝鮮國一手販賣 朝鮮釜山南濱町四十三番地 北海屋商店（電話三百三十八番）

吳服太物 御召 新柄 各種品 原口釜山支店 電話七十二番

東京 大黒本店 蘭印葡萄酒 賣捌所 草梁大□支店 仁川 栗谷 釜山本町

神島ア 神島ア 神島

和洋反物類 東京香取屋製 京阪最新流行 御履物一切 和傘 其他御好に應じ調進可仕候 韓國釜山辨天町三丁目長手通り ア神島商店 電話一□□番

商標 末廣 滿洲 金港堂 釜山支店 小野茂